

平成30年度(2018年度)学校評価

学校番号72

長野県木曾青峰高等学校

定時制

学校教育目標	重点目標
<p>広い視野とやさしく豊かな心を持ち、真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人間を育成する。</p> <p>(教育方針)</p> <p>① 自他の敬愛と協力を重んじ、民主的な社会の形成者たるにふさわしい豊かな人間性を養う。</p> <p>② 自主・自立の精神を養い、主体的にして責任ある行動のとれる人間を育てる。</p> <p>③ 学習及び諸活動における真摯・勤勉の気風と切磋琢磨の精神を重んじ、個々の能力の伸長を図る。</p> <p>④ 多様な学習によって、自らの未来を切り拓く力を創造性豊かな個性をはぐくむ。</p> <p>⑤ 故郷の社会・文化を大切にする心を培い、地域社会の発展に寄与する人間を育てる。</p> <p>⑥ 木曾の豊かな自然を愛し、地球環境の未来を考える視野を養う。</p>	<p>① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</p> <p>② 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切にする教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。</p> <p>③ 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。</p> <p>④ さまざまな活動を通し、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑤ 「夢に挑戦する学び」への対応を進める。</p>

評価の材料・基準
<p>A. アンケート・評価 【 ア 生徒・保護者 イ 教職員 ウ 学校評議員 エ その他 】</p> <p>B. 成績 C. データ D. 活動などの状況 E. その他</p>

対象	評価項目(目標番号)	評価の観点	評価の材料・基準
学習指導	授業内容(補充授業を含む)の充実と出席率の向上 ② ③ ⑤	授業内容、進度などに生徒が満足しているか。 生徒の学習実態を正確に把握し、基礎的な力を育み、さらに伸ばすような授業にしようとする工夫と改善がなされたか。 基礎学力の教育を単なる学力指導とせず、社会自立に向け必要な土台として位置づけられたか。	A-アイ B C D
進路指導	進路目標の明確化と進路実現 ② ③	保護者も交えた話し合い等を通じて、労働の意義・職業観等を学んだ上で、自身の進路目標を定められているか。 進路実現に向けて、早い段階から考えさせることができたか。 卒業する生徒の進路希望を実現できたか。	A-アイ C D
	キャリア教育の推進 ② ③ ⑤	生徒自身が他人の考えや立場を理解し、自分自身の考えを伝えることが出来るようになったか。 学ぶこと、働くことの意義を理解し、社会人としての将来設計が出来るようになったか。 自分の将来の夢をもち、その実現に向けて何をすべきか考えることが出来るようになったか。	A-アイ C D
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化 ③ ④	生徒の自主活動を支援する態勢は整っているか。 蒼陵祭の企画、運営をはじめ各委員会の活動や生徒会行事に対して自主的・積極的に取り組めるように支援できたか。	A-アイウ D
生活指導	基本的社会性をもった人間の育成 ③	挨拶をはじめ、声かけ等を通してコミュニケーション能力の向上に日頃から手を入れているか。 校舎の内外を問わず、社会的規則と常識を生徒自身が身に付けるような指導を継続しているか。	A-アイウエ D
	全職員による生徒の状況把握(情報の共有) ① ② ③	学校生活で気がかりな点の見られる生徒について状況を把握しているか。 いじめなどのない健全な人間関係ができているか。	A-アイ C D
	相談体制の充実発展 ① ② ③ ④	カウンセリングなど生徒の悩みや要望を受け止められる体制が整備されているか。 生徒の実態を把握し、支援の必要な生徒に対し適切な指導がおこなえたか。 スクールカウンセラーと緊密な連携をとることができたか。 職員研修の充実が図られているか。	A-アイ C D
	家庭・地域社会との連携 ① ④	家庭との連絡を密に取れているか。 地域社会の関係機関との情報交換を行い、生徒の指導に活かされているか。	A-アイウエ D

全 般	緊急時保護者への連絡体制の完備	①	クラス・クラブでの連絡体制が整い、それが実際に機能しているか。	A-アイ C D
	学校ホームページ・パンフレットの充実	④	入試選抜、学校行事の内容など、地域に必要な情報を発信できているか。	A-アイエ D
	授業等の公開	④	保護者、地域住民等に対する授業公開ができたか。地域に開かれた学校づくりができているか。	A-アイエ D